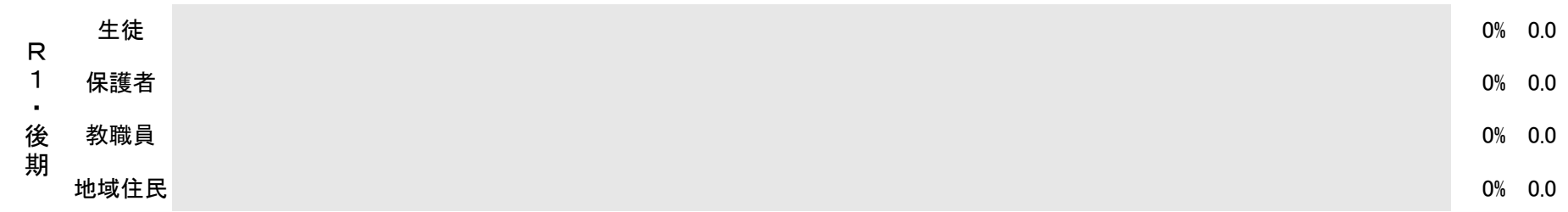
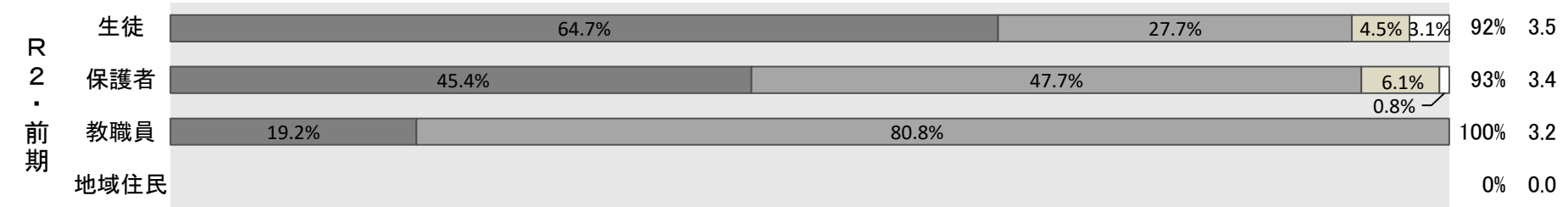


1 学校が楽しい。  
 (生徒) 学校が楽しい。  
 (保護者) お子様は、学校が楽しいと思っている。  
 (教職員) 生徒は、学校が楽しいと思っている。  
 (地域住民) 0

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察 本年度、新たに加えた質問項目であり、最も重要な質問項目であると認識している。前期(7月)と比較すると、肯定的回答をした割合は、生徒96%、保護者97%と、どちらも4ポイント増加した。一方、減少しているとはいえ、前期に引き続き、「そう思わない」と回答した生徒がいることは課題といえる。教職員は生徒全体を対象とし回答しているが、保護者は「我が子」を想定し回答していることが予想され、生徒と保護者の否定的回答率にあまり差がないことから、生徒の状態を、保護者は把握していることが予想される。

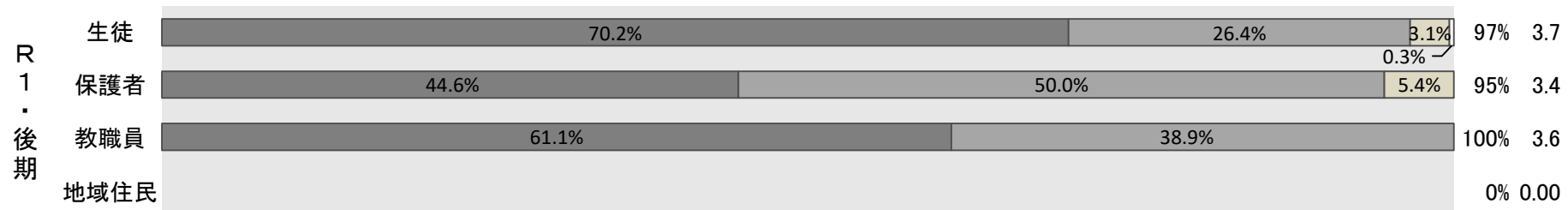
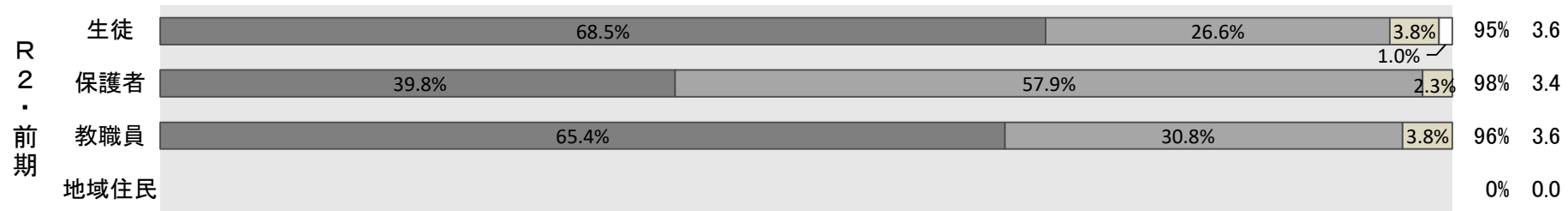
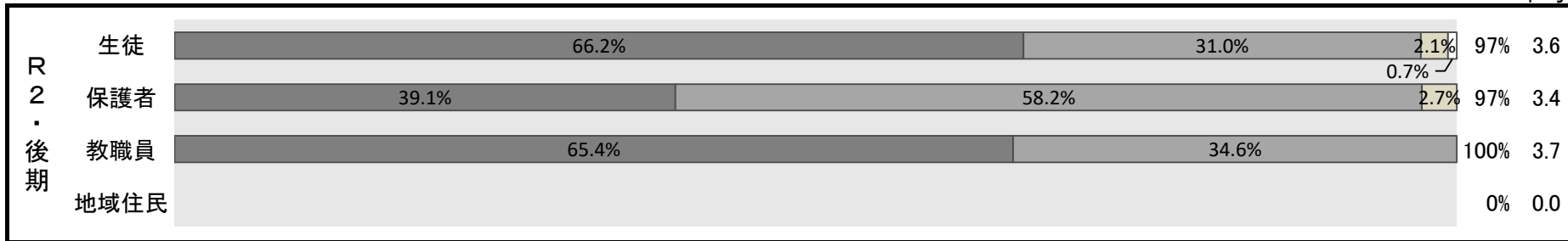
2

先生たちは、心配事を相談した時に、しっかり話を聞くなど親身に  
対応してくれると思う。

(生徒) 先生たちは、心配事を相談した時に、しっかり話を聞くなど親身に  
対応してくれると思う。  
(保護者) 教職員は、お子様が心配事を相談した時に、しっかり話を聞くなど親身に  
対応してくれると思う。  
(教職員) 本校の教職員は、生徒が心配事を相談した時に、しっかり話を聞くなど親身に  
対応していると思う。  
(地域住民) 0

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

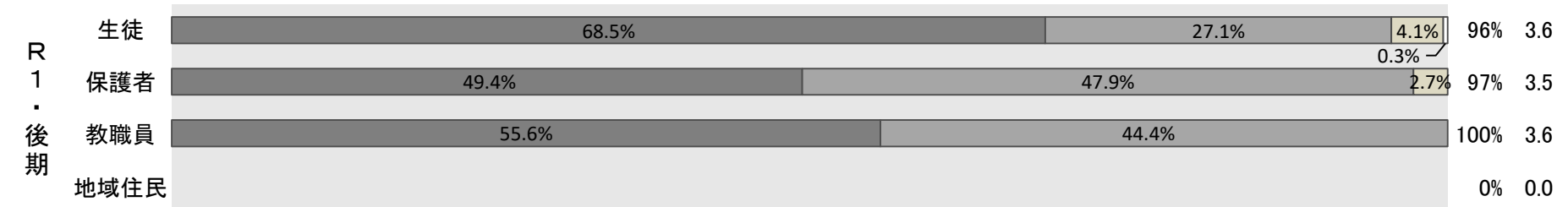
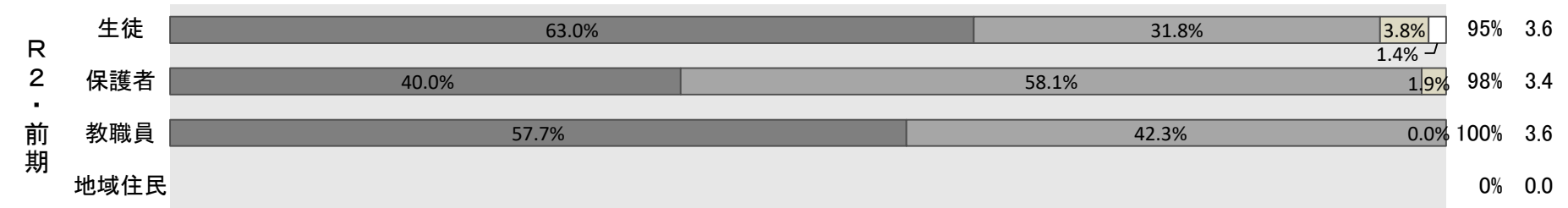
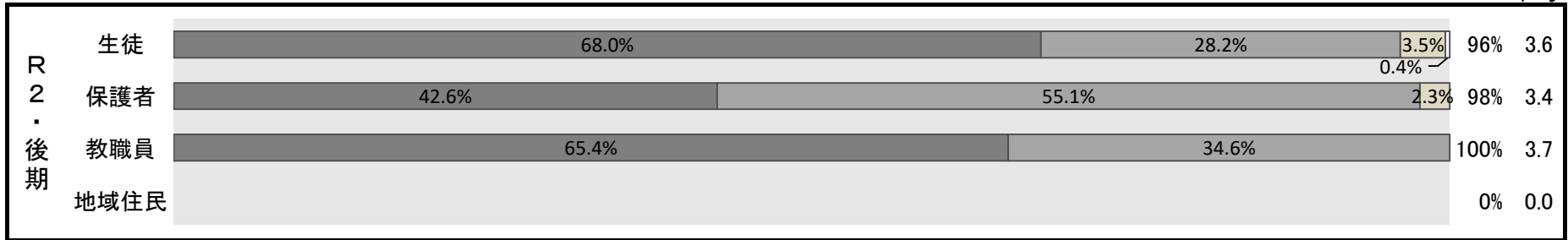
考察 前期(7月)と比較すると、肯定的回答をした生徒の割合は2ポイント増加している。昨年度後期との比較では、増減はなかった。3%未満ではあるが、否定的回答をした生徒がいることを真摯に受け止め、傾聴と共感の姿勢を一層大切にしたい。また、肯定的回答をした保護者の割合は、前期と比較すると1ポイント減少したが、昨年度後期より2ポイント増加している。引き続き、再度、全教職員で寄せられた期待に応えていきたい。

3 先生たちは、あなたのよいところを認めてくれていると思う。

(生徒) 先生たちは、あなたのよいところを認めてくれていると思う。  
 (保護者) 教職員は、お子様のよいところを認めてくれていると思う。  
 (教職員) 本校の教職員は、生徒のよいところを認めていると思う。  
 (地域住民) 0

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

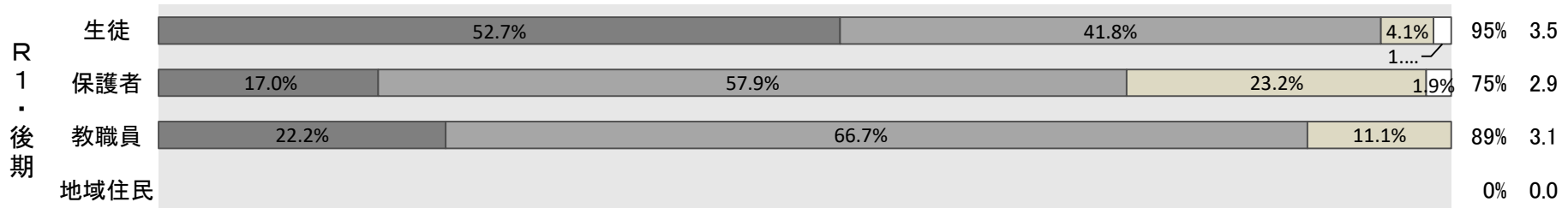
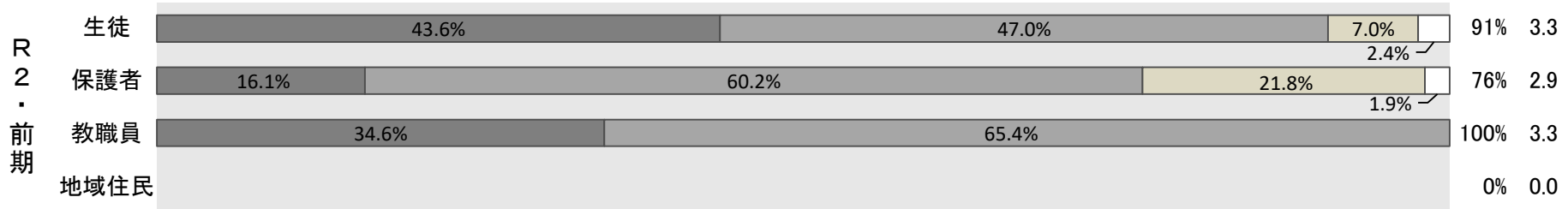
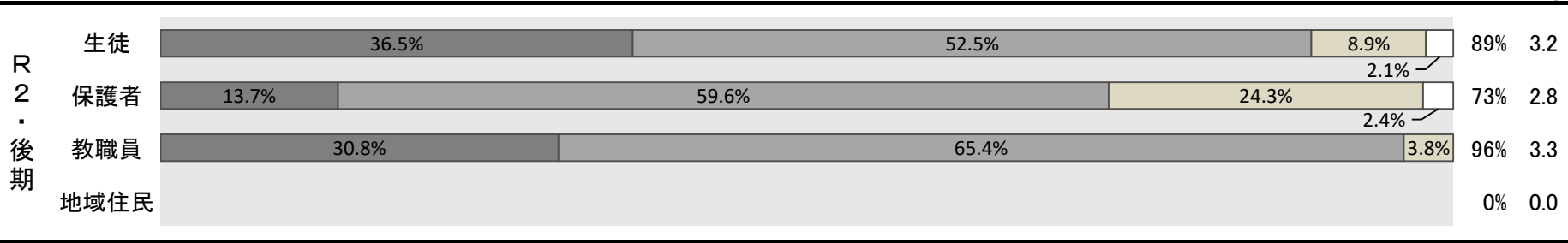
考察 前期(7月)と比較すると、肯定的回答をした生徒の割合は1ポイント増加している。昨年度後期との比較では、増減がなかった。一方、「そう思わない」と回答をした生徒の割合が減少しており、日頃から、「生徒一人ひとりのよいところをみていこう」という姿勢を大切にしてきた成果と考える。

4 あなたは、授業内容がよく分かり、意欲的に取り組むことができる。

(生徒) あなたは、授業内容がよく分かり、意欲的に取り組むことができる。  
 (保護者) お子様は、授業内容がよく分かると言っている。  
 (教職員) 生徒は、授業のねらいを理解し意欲的に取り組んでいる。  
 (地域住民) 0

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う □ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察 肯定的回答をした生徒の割合は9割近いものの、前期(7月)及び昨年度後期と比較すると、ポイントが減少している。一方、授業を実施、評価する立場である教職員の肯定的回答率は、昨年度後期より増加していることから、生徒や保護者が、このコロナ禍の臨時休業等で、学力に対し不安を抱いていることが推察できる。本年度は、2学期から「わかる実感を得るために必要な学習形態」と生徒自身が認識している「グループ学習」に積極的に取り組んでいる。引き続き、グループ学習の充実を図ることで、わかる実感を得ることにつながると思う。

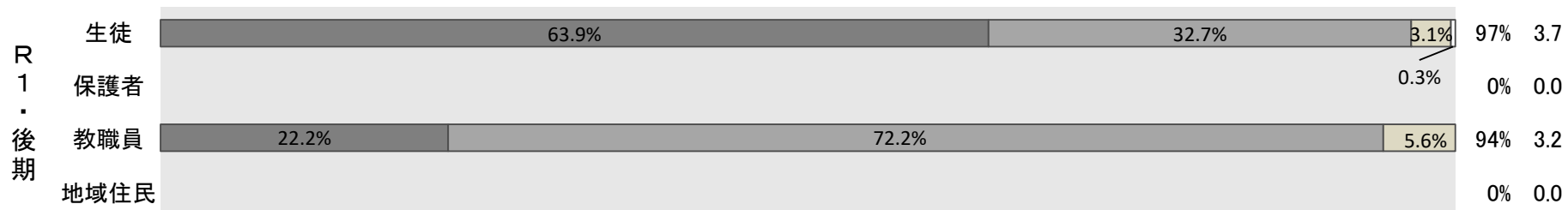
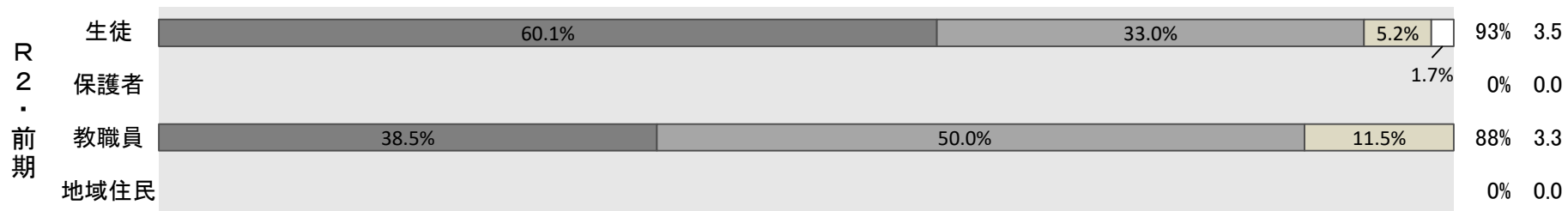
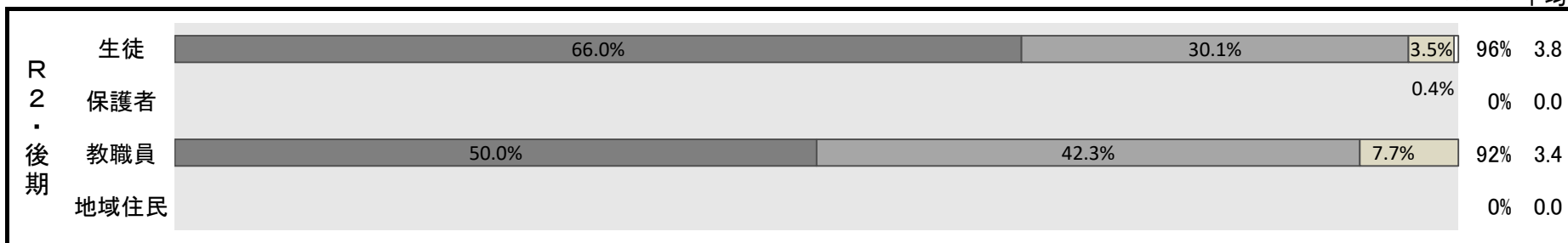
5

授業では、グループで話し合いながら問題を解決したり理解を深めたりする学習活動に積極的に取り組んでいると思う。

(生徒) 授業では、グループで話し合いながら問題を解決したり理解を深めたりする学習活動に積極的に取り組んでいると思う。  
 (保護者) 0  
 (教職員) 生徒は、グループで話し合いながら問題を解決したり、理解を深めたりする学習活動に積極的に取り組んでいると思う。  
 (地域住民) 0

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う □ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察

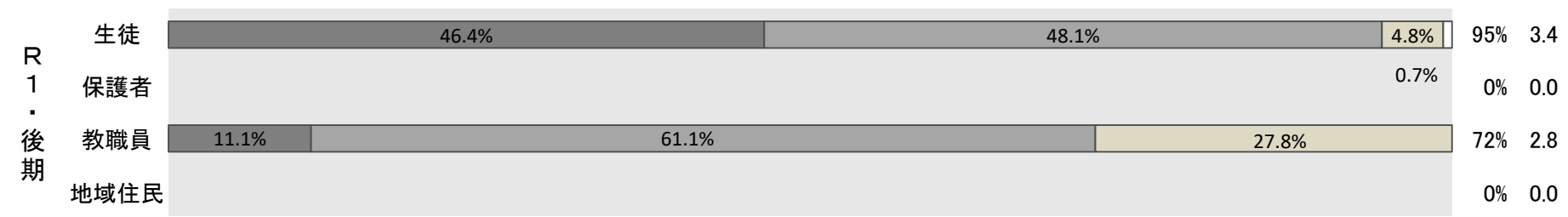
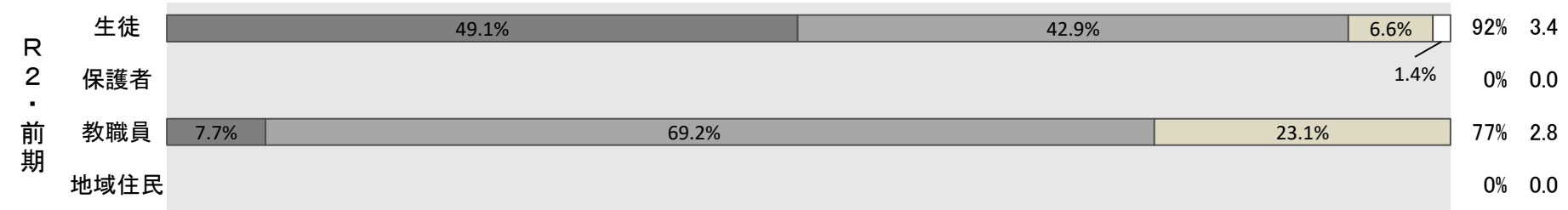
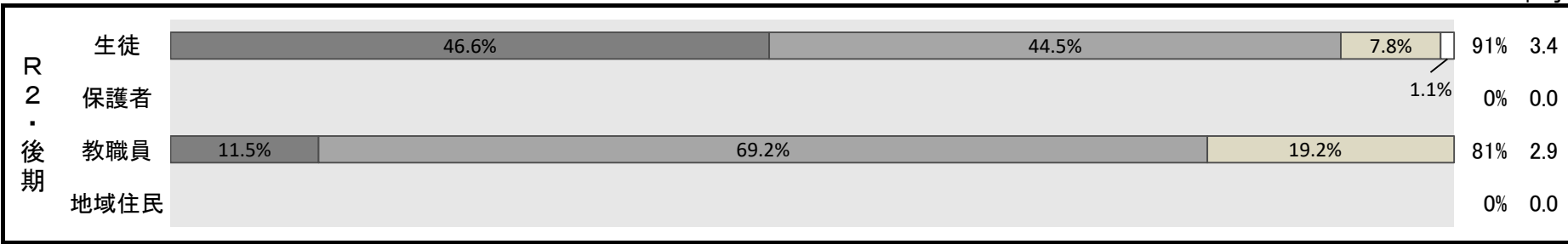
前期(7月)と比較すると、肯定的回答をした生徒の割合は3ポイント増加している。昨年度後期との比較でも、同程度の割合まで増加している。年度初めは、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、授業におけるグループ学習を制限してきたが、2学期から、感染防止対策を講じながら、新しい形でのグループ学習に取り組んできた成果であると考えられる。

6 授業では、相手の言うことをしっかり聞くとともに、自分の考えを伝えることができていると思う。

(生徒) 授業では、相手の言うことをしっかり聞くとともに、自分の考えを伝えることができていると思う。  
 (保護者) 0  
 (教職員) 生徒は、授業で相手の言うことをしっかり聞くとともに、自分の考えを伝えることができていると思う。  
 (地域住民) 0

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

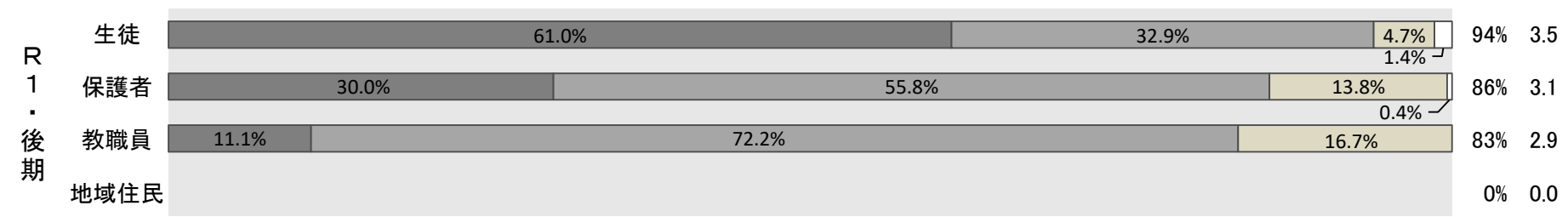
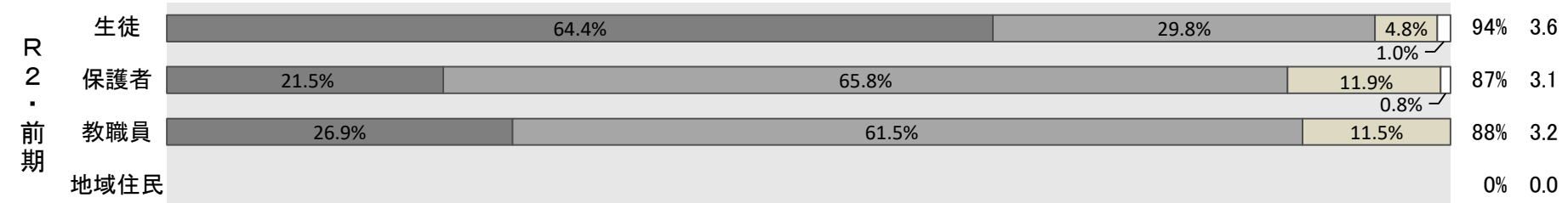
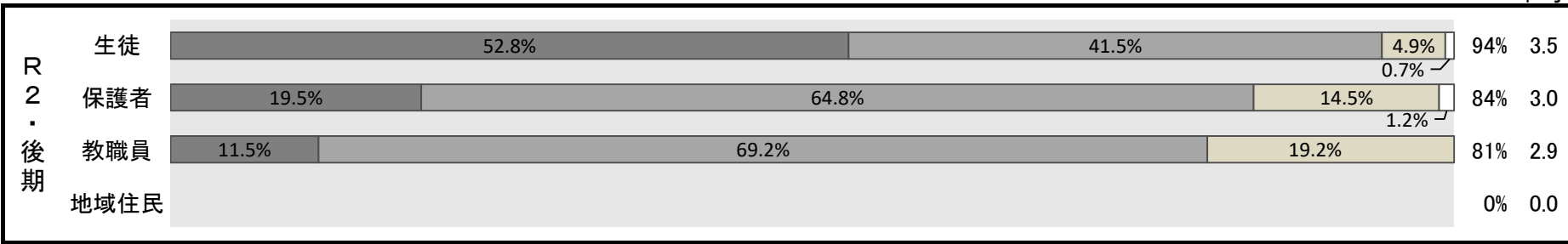
考察 肯定的回答をした生徒の割合は9割を超えているものの、前期(7月)及び昨年度後期との比較では、減少している。2学期からは、感染防止対策を講じながら、新しい形でのグループ学習に取り組む中、生徒一人ひとりが発言する機会が増えたことで、多くの生徒が自分の考えを伝えることの難しさを感じていることが推察できる。引き続き、グループ学習の充実を図ることで、聞く力や伝える力を伸ばしていきたいと考える。

7 先生たちは、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれると思う。

(生徒) 先生たちは、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれると思う。  
 (保護者) 教職員は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、丁寧に教えてくれると思う。  
 (教職員) 本校の教職員は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えている。  
 (地域住民) 0

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察 前期(7月)及び昨年度後期との比較では、肯定的回答をした生徒の割合の増減はない。一方、肯定的回答をした保護者及び教職員の割合は減少している。夏休みの短縮等でリカバーしているものの、臨時休業による授業時間の減少に対し、保護者や教職員が、生徒に十分な指導ができていないのか疑問に感じていることが伺える。また、このように学力に対し不安を抱いている中、学期が進み学習内容が難しくなるにつれ、項目4のように「わかる実感」が減ってきたことに対し、教職員は「もっと教えた」、保護者は「もっと教えてほしい」という気持ちになっていることが推察される。引き続き、保護者の不安感、生徒の困り感に寄り添いながら指導していく必要がある。